

WEEKLY SIGNAL

平成27年8月14日(金) 1287号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	8/17(月)	8/18(火)	8/19(水)	8/20(木)	8/21(金)
無担保O/N	0.030% ~ 0.125%				
銀行券	+ 900	+ 1,000	ト ン	△ 1,000	△ 2,000
財政他	△ 32,400	ト ン	+ 1,000	△ 30,000	+ 2,000
資金需給	不 31,500	余 1,000	余 1,000	不 31,000	ト ン
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3・6M) 国債発行(2・5年)・償還(2年)			国庫短期証券発行・償還(1Y) 国債発行(20年)	
オペ期日	共通担保(全店) △ 1,300 CP等買入 △ 100				
オペスタート	共通担保(全店) + 1,200 ETF買入 + 200	短国買入 + 15,000 国債買入 + 12,000 社債等買入 + 1,300			
(日本)	4-6月期GDP速報 業態別の日銀当座預金残高(7月)		貿易収支(7月) 全産業活動指数(6月)	対外対内証券売買(前週分) 公社債投資家別売買高(7月)	
(海外)	米 NY連銀製造業景況指数(8月) 米 NAHB住宅市場指数(8月)	米 住宅着工・建設許可件数(7月)	米 MBA住宅ローン申請指数(8月14日終了週) 米 消費者物価指数(7月) 米 FOMC議事録(7月28、29日)	米 週間新規失業保険申請件数(8月15日終了週) 米 中古住宅販売件数(7月) 米 サンフランシスコ連銀総裁講演 欧 ギリシャECBへ32億ユーロ返済期限	欧 ユーロ圏消費者信頼感指数(8月)

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	0.080 ~ 0.120
SPOT 2M	0.117 ~ 0.125
SPOT 3M	0.118 ~ 0.135
SPOT 6M	0.130 ~ 0.150

＜インターバンク＞

今週の日銀当座預金残高は、週初219兆円台から始まり、その後は国債・国庫短期証券買入オペ等の要因で増加し、220～223兆円台で推移した。週末は年金定時払い日であり、前日から7兆5,900億円増加の229兆7,000億円となった。無担保コールON物は週を通して0.073～0.077%で取引されたが、一部試し取りの動きから0.12%超の出合いも散見された。加重平均金利は0.075～0.077%の狭い範囲で推移した。ターム物は1～2W物が0.11%台後半で取引された。14日に国庫短期証券買入オペが前回分(10日オファー、オファー額1兆7,500億円、応札額4兆2,117億円、応札倍率2.41倍)から2,500億円減額の1兆5,000億円台でオファーされ、応札額がほぼ横ばいだったため、応札倍率は2.76倍に上昇した。来週の予定は国内では4-6月期GDP(17日)があり、海外では7月開催分FOMC議事要旨(19日)、ギリシャのECBへの21億ユーロ返済期限(19日)がある。

【オープン市場】

NCD 3M	0.090 ~ 0.120
CP3M(a-1+)	0.070 ~ 0.090
TDB 3M	△0.005 ~ 0.000
現先(on/1w)	0.060 ~ 0.100

＜CP＞

今週の入札発行額は約4,000億円で、期落ち額約5,000億円(金融機関・ABCP除く)を下回った。多くの企業が夏季休暇に入り、発行は閑散としていた。

a-1格相当銘柄の3M物入札発行レートは、0.080%台後半～0.100%台後半で推移した。

現先レートの中心は、0.060%～0.100%程度で推移した。

来週の期落ち額は約9,100億円程度となっている。

＜TDB＞

13日に国庫短期証券3M第551回債の入札が行われたが、最高落札レートは△0.0040%(前回債△0.0040%)、平均落札レートは△0.0044%(前回債△0.0056%)と前回債から利回りにほとんど変化はなかった。セカンダリーは3Mで△0.002%近辺の出合い。6M、1Yは目立った出合いはなかった。来週18日に1Y、20日に3Mの入札が行われる予定である。

＜レポ＞

足許GCは週初短国・国債買入オペが合計2兆9500億円オファーされたこともあり、先週末対比0.03%程度低下の0.065%近辺の出合から始まった。積最終日を跨ぐ14日受渡では、S/Nで0.085%、T/Nでは0.095%までレートが上昇した。TDB3M・2年債・5年債の発行が重なる17日受渡では、0.09%台後半を中心にに出合。週末には今週2度目となる短国・国債買入オペが合計2兆7000億円オファーされたが、レートは小幅低下に留まり、0.085%近辺での出合をつけ越週した。SCは5年124回債の入札を睨んだ17日エンド物のビッドが目立った。5年債は120・124回債、10年債は327・328・329・333・334・335回債、20年債は153回債、40年債は8回債に引合が多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。